

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024 年 5 月 7 日

都道府県知事 殿

病院名 独立行政法人国立病院機構呉医療センター  
開設者 独立行政法人国立病院機構理事長 新木 一弘

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030636

臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構呉医療センター

記入日：西暦 2024 年 4 月 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。		臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称  番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ 大下 トモヒコ 氏名(姓) (名) 大下 智彦	役職  0823-22-3111 (内線 7221) (直通電話 ( ) — ) e-mail: ooshita.tomohiko.uc@mail.hosp.go.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ トクツギョウセイクンコクリツビョウインキョウレイリョウセンター 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 737-0023 (広島 県) 広島県呉市青山町3-1  電話：(0823) 22 — 3111 F A X：(0823) 21 — 0478  二次医療圏 の名称： 呉二次医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ トクツギョウセイクンコクリツビョウインキョウ 独立行政法人国立病院機構		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 152-8621 (東京 都) 東京都目黒区東が丘2-5-21  電話：(03) 5712 — 5050 F A X：(03) 5712 — 5081		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シゲタ 姓 繁田	マサノブ 名 正信	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https://kure.hosp.go.jp/		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030636

臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構呉医療センター

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		<p>常勤： 110名、非常勤（常勤換算）：47.98名 計（常勤換算）： 157.98名、医療法による医師の標準員数：50.35名</p> <p><small>* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入</small></p>
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 年 月 日、告示番号：第 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（ 304.63 ）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	<p>前年度の件数： 11,452 件（うち診療時間外： 6,214 件） 1日平均件数： 31.3 件（うち診療時間外： 17.0 件） 救急車取扱件数： 3,645 件（うち診療時間外： 2,146 件）</p>
	診療時間外の勤務体制	医師： 10名、看護師及び准看護師： 2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ①. 有 0. 無） 外科系 ①. 有 0. 無） 小児科 ①. 有 0. 無） その他（ 産科、婦人科 ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		<p>1. 一般： 650 床、2. 精神： 50 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床</p>
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		<p>* 別紙2に記入</p> <p><small>年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度のの次年度分及び次々年度分の想定を記入。</small></p>
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		<p>1. 一般： 13.7 日、2. 精神： 33.4 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日</p>
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 231 件、異常分娩件数： 128 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 6 回、今年度見込： 6 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 <span style="float: right;"><small>下に開催した回数を記入</small></span>
	剖検数	前年度実績： 10 件、今年度見込： 10 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	<p>①. 有（単身用： 44 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円）</p> <p><small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small></p>
	研修医室	①. 有（ 2 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 156.0 ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 2500 冊、国外図書： 170 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 550 種類、国外雑誌： 220 種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ～ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	<p>Medline等の文献データベース ①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ ①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）</p> <p>利用可能時間（ 0:00 ～ 24:00 ）24時間表記</p>
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030636

臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構呉医療センター

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ヤマサキ	フリガナ	フリガナ	
		氏名(姓) 山崎	(名) 琢磨		
		役職 医療情報部長			
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )			
	診療録の保存期間	( 20 ) 年間保存			
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に: )			
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有 ( 1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>			
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 ( 1 ) 名、兼任 ( 71 ) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等			
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	フリガナ 中谷	フリガナ シュンスケ	
		氏名(姓) 中谷	(名) 俊介		
		役職 専門職			
		対応時間 ( 8:30 ~ 17:15 ) 24時間表記			
		患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無			
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容：			
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 12 ) 回 活動の主な内容：事例分析結果の報告と注意喚起 等			
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 12 ) 回 研修の主な内容：Safety-II、麻薬管理、医療機器管理 等			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：各種マニュアルの整備 等				
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 12 名 中断： 名				
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度	
	1 年	13	12	13	
	2 年	11	12	12	
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 700 ) 床 ÷ 10 = ( 70 ) 名			
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 13, 197 ) 人 ÷ 100 = ( 13.2 ) 名			
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>	1. 精神保健福祉士： 7 名 (常勤： 7 名、非常勤： 0 名)				
	2. 作業療法士： 14 名 (常勤： 14 名、非常勤： 0 名)				
	3. 臨床心理技術者： 4 名 (常勤： 3 名、非常勤： 1 名)				
	9. その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名)				
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>	①. 有 (評価実施機関名：日本医療機能評価機構(2022年5月20日)) 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small> 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 0. 無				

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030636 臨床研修病院の名称： 国立病院機構呉医療センター

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 7 時 45 分 ~ 19 時 00 分) ※21 時迄延長可能 病児保育 ( 1. 有 (0) 無) 夜間保育 (1) 有 (日曜限定) 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 (0) 無) その他の補助 (具体的に : )
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1) 有 0. 無) 授乳スペース (1) 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		( 国立病院機構本部にて出産・子育て等に関する制度等のガイドブックを作成、HP 掲載)
	研修医のライフイベントの相談窓口		(1) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名) (0) 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名) (0) 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称 :  プログラム番号 : 030636103
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次 : 13 名、2 年次 : 13 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 材ツ トモコ 氏名 (姓) 大下 氏名 (名) 智彦  所属 役職 臨床研修センター 臨床研修センター部長  電話 : (0823) 22 - 3111 FAX : (0823) 21 - 0478  e-mail : 506-form@mail.hosp.go.jp  URL : https://kure.hosp.go.jp/rinshou/
	資料請求先		住所 〒737-0023 広島県呉市青山町 3-1  担当者氏名 担当者氏名 フリガナ 材ツ ヲムケ 氏名 姓 奥村 名 祐介  電話 : (0823) 22 - 3111 FAX : (0823) 21 - 0478  e-mail : okumura.yusuke.eg@mail.hosp.go.jp  URL : https://kure.hosp.go.jp/rinshou/



## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－6－

病院施設番号： 030636 臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構呉医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 1 回） その他（具体的に )
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する <input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> ） 個人加入（1. 強制 <input type="radio"/> 任意 <input checked="" type="radio"/> ）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください（7時45分～19時00分）※21時迄延長可能</small>
		病児保育（1. 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> ） 夜間保育 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 <input type="radio"/>
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 可 0. 不可 <input type="radio"/>
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> ）
		その他の補助（具体的に： )
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 <input type="radio"/> 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 <input type="radio"/>
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（国立病院機構本部にて出産・子育て等に関する制度等のガイドブックを作成、HP 掲載）
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	<input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 <input type="radio"/> 窓口の名称がある場合記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
    - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
    - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
    - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
    - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
    - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
    - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
    - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
  - 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
  - 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。
  - 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$



- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
  - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
  - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
  - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
  - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
  - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
  - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
  - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
  - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
  - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

(No. 1)

## 6. 研修管理委員会（令和5年度開催回数2回）

構成員の氏名等 病院施設番号: 030636 臨床研修病院の名称: 国立病院機構呉医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ミズノエ	トモヤ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	臨床研修センター部長	研修管理委員長 研修実施責任者 プログラム責任者
姓 水之江	名 知哉			
フリガナ シモセ	ショウジ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	院長	研修実施責任者 指導医
姓 下瀬	名 省二			
フリガナ シゲタ	マサノブ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 繁田	名 正信			
フリガナ タシロ	ヒロタカ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 田代	名 裕尊			
フリガナ オオバ	シンジ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	統括診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 大庭	名 信二			
フリガナ サヌキ	ミチヨシ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	臨床研究部長	研修実施責任者 指導医
姓 讃岐	名 美智義			
フリガナ スギノ	ヒロシ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	内科系診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 杉野	名 浩			
フリガナ タツカワ	リュウジ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	外科系診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 立川	名 隆治			
フリガナ イワサキ	ヤスマサ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	救命救急センター部長	研修実施責任者 指導医
姓 岩崎	名 泰昌			
フリガナ オオシタ	トモヒコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	臨床研修室長	指導医 副プログラム責任者
姓 大下	名 智彦			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会（令和5年度開催回数2回）

構成員の氏名等 病院施設番号: 030636 臨床研修病院の名称: 国立病院機構呉医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ セラ	ヤスヒコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	小児科科長	研修実施責任者 指導医
姓 世羅	名 康彦			
フリガナ マチノ	アキヒコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	教育企画部長	研修実施責任者 指導医
姓 町野	名 彰彦			
フリガナ クワイ	トシオ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	消化器内科医長	指導医
姓 桑井	名 寿雄			
フリガナ スズキ	タカヒサ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	外科医長	指導医
姓 鈴木	名 崇久			
フリガナ フジタ	ヒデキ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	薬剤部長	
姓 藤田	名 秀樹			
フリガナ タサカ	サトシ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	診療放射線技師長	
姓 田坂	名 聡			
フリガナ フクオカ	ヨシヒサ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	臨床検査技師長	
姓 福岡	名 義久			
フリガナ カネ	ヒデミ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	栄養管理室長	
姓 兼	名 任美			
フリガナ カンダ	ヒロコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	看護部長	
姓 神田	名 弘子			
フリガナ アズマ	ユリコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	副看護部長	
姓 東	名 百合子			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会（令和5年度開催回数2回）

構成員の氏名等 病院施設番号: 030636 臨床研修病院の名称: 国立病院機構呉医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ハマナカ	シズカ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	医療安全管理係長	
姓 濱中	名 静香			
フリガナ イケダ	トモコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	看護師長	
姓 池田	名 知子			
フリガナ トクオミ	マサヒコ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	事務部長	事務部門責任者
姓 徳臣	名 雅彦			
フリガナ クワモト	タカユキ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	管理課長	
姓 桑本	名 貴幸			
フリガナ オオカワ	テツオ	独立行政法人国立病院機構呉医療センター	庶務班長	
姓 大川	名 鉄雄			
フリガナ ナイトウ	マサオ	呉市保健所	所長	研修実施責任者
姓 内藤	名 雅夫			
フリガナ キボク	ミツオ	近畿大学工学部	名誉教授	
姓 木ト	名 光夫			
フリガナ オオウネ	テルマサ	医療法人晃全会 大宇根内科呼吸器科クリニック	院長	研修実施責任者
姓 大宇根	名 晃雅			
フリガナ モリモト	タダオ	医療法人社団 森本医院	理事長	研修実施責任者
姓 森本	名 忠雄			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会（令和5年度開催回数2回）

構成員の氏名等 病院施設番号: 030636 臨床研修病院の名称: 国立病院機構呉医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ オオムラ	ヤスシ	医療法人せいざん 青山病院	院長	研修実施責任者
姓 大村	名 泰			
フリガナ オオタニ	マリ	医療法人社団 大谷会 島の病院おおたに	院長	研修実施責任者
姓 大谷	名 まり			
フリガナ タボ	タカノリ	公立下蒲刈病院	院長	研修実施責任者
姓 多保	名 孝典			
フリガナ ナカ	マリコ	岡田医院	院長	研修実施責任者
姓 中	名 真理子			
フリガナ ササキ	ケイスケ	佐々木呼吸器内科クリニック	副院長	研修実施責任者
姓 佐々木	名 啓介			
フリガナ フクハラ	リエ	県立広島病院	副院長	研修実施責任者
姓 福原	名 理恵			
フリガナ サカ	リュウタ	福山医療センター	小児外科医長	研修実施責任者
姓 阪	名 龍太			
フリガナ ユウキ	ツネツグ	安芸太田病院	院長	研修実施責任者
姓 結城	名 常譜			
フリガナ オカダ	カズロウ	安田病院	診療部長	研修実施責任者
姓 岡田	名 和郎			
フリガナ イトウ	ヒロユキ	済生会呉病院	院長	研修実施責任者
姓 伊藤	名 博之			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会（令和5年度開催回数2回）

構成員の氏名等 病院施設番号：030636 臨床研修病院の名称：国立病院機構呉医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ヤギタ	カズオ	松前町立松前病院	院長	研修実施責任者
姓 八木田	名 一雄			
フリガナ ゴトウ	トシヒコ	県立安芸津病院	院長	研修実施責任者
姓 後藤	名 俊彦			
フリガナ ヨコタ	カズノリ	公立世羅中央病院	企業長	研修実施責任者
姓 横田	名 和典			

7. 病院群の構成等

様式 A - 10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）独立行政法人国立病院機構呉医療センター（広島）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員	
広島県	呉	独立行政法人国立病院機構呉医療センター (病院施設番号:030636)		広島県	広島		県立広島病院 (病院施設番号:030626)							国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13	
				広島県	福山・府中		独立行政法人国立病院機構福山医療センター (病院施設番号:030639)								国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		呉市保健所 (病院施設番号:033344)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		医療法人晃全会 大宇根内科呼吸器科クリニック (病院施設番号:076199)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		医療法人社団 森本医院 (病院施設番号:086059)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		医療法人 佐々木内科・呼吸器科クリニック (病院施設番号:086060)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		医療法人社団大谷会 島の病院おおたに (病院施設番号:096345)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		公立下蒲刈病院 (病院施設番号:096346)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		医療法人せいざん青山病院 (病院施設番号:096347)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		岡田医院 (病院施設番号:126762)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	広島		安芸太田病院 (病院施設番号:031918)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	広島中央		安田病院 (病院施設番号: )			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	呉		済生会呉病院 (病院施設番号:031929)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	尾三		公立世羅中央病院 (病院施設番号:080028)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
							(病院施設番号: )		広島県	広島中央		県立安芸津病院 (病院施設番号:116061)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13
			(病院施設番号: )		北海道	南渡島		松前町立松前病院 (病院施設番号:034868)			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13				
			(病院施設番号: )	○	長崎県	五島		富江病院 (病院施設番号: )			国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム	13				



基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

区分	内科	外科	救急部門	小児科	産婦人科	又は		精神科	臨床研修病院の名称										合計
						産科	婦人科		呉医療センター										
									病院施設番号										
									その他の研修を行う診療科										
									麻酔科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	整形外科	放射線科	緩和ケア科	病理診断科	
年間入院患者数	5,855	2,679		505		485	573	240		99	130	818	155	753	904		1		13,197
( )内は救急件数又は分娩件数			(11452)			(359)													
年間新外来患者数	7,101	4,946		1,183		452	439	224	319	517	340	525	331	942	1,160	780			19,259
1日平均外来患者数	353.6	200.9		31.7		17.4	34.1	65.4	3.1	27.9	11.3	42.9	22.6	63.6	49.3	4.0			
( )内は年間外来診療日数	(243)	(243)	(366)	(243)		(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)			
平均在院日数	17.5	14.7		7.6		8.2	7.3	33.4		18.8	13.5	11.3	1.9	12.7	25.5		40.5		
常勤医師数	28	23	2	7	5			4	7	2	2	4	1	3	7	7	0	3	105
(うち臨床研修指導医(指導医)数)	(23)	(15)	(1)	(5)	(4)			(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	(5)	(0)	(2)	(66)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称：呉医療センター・中国がんセンター						
								病院施設番号：030636						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
呉医療センター・中国がんセンター	内科	15	12	13	9	8	11	9	10	6	9	9	9	10
広島大学病院	内科	3	5	4	2	1	2			2	2	1	4	2
	内科合計	20	18	19	13	10	13	9	10	8	11	10	13	12
呉医療センター・中国がんセンター	救急部門	3	3	2	2	3	2	2	2	4	3	2	3	2
広島大学病院	救急部門		2	1				1				1	1	1
広島西医療センター	救急部門													
高知病院	救急部門													
	救急部門合計	3	5	3	2	3	2	3	2	4	3	3	4	3
呉医療センター・中国がんセンター	外科	2	2	1	5	4	4	4	6	6	4	3	6	5
広島大学病院	外科		2		1		1					1		
	外科合計	2	5	1	6	4	6	5	6	7	4	5	6	5
呉医療センター・中国がんセンター	麻酔科		2	1	3	2	1	1	3		1	2		
広島大学病院	麻酔科		1	1		1								
	麻酔科合計		3	2	3	3	1	1	3		1	2		
呉医療センター・中国がんセンター	小児科	2		1		1	2	2		2	2		2	
広島大学病院	小児科													
	小児科合計	2		1		1	2	2		2	2		2	
呉医療センター・中国がんセンター	産婦人科		1	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1
広島大学病院	産婦人科							1						

	産婦人科合計		1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1
呉医療センター・中国がんセンター	精神科		2	2	1	3	1	1	1	1	1		2	1
広島大学病院	精神科				1							1		
広島西医療センター	精神科											1		
	精神科合計		2	2	2	3	1	1	1	1	1	2	2	1
呉医療センター・中国がんセンター		3	2	2	2	1	1	4	3	3	2	5	1	5
高知大学医学部附属病院														
	選択科目合計	3	2	2	2	1	1	4	3	3	2	5	1	5

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。



	産婦人科合計	1		2	1	1		3	2	2	1	2	1	
呉医療センター・中国がんセンター	精神科	2			1	2	2	1	1	2	2	1	1	
広島大学病院	精神科													
広島西医療センター	精神科		1											
	精神科合計	2	1		1	2	2	1	1	2	2	1	1	
呉医療センター・中国がんセンター		1	3	1	2	4	3	4	7	5	3	2	2	1
高知大学医学部附属病院														
	選択科目合計	1	3	1	2	4	3	4	7	5	3	2	2	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。



	産婦人科合計	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
呉医療センター・中国がんセンター	精神科	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
広島大学病院	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
広島西医療センター	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	精神科合計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
呉医療センター・中国がんセンター		26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
高知大学医学部附属病院		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	選択科目合計	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。





	産婦人科合計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
呉医療センター・中国がんセンター	精神科	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
広島大学病院	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
広島西医療センター	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	精神科合計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
呉医療センター・中国がんセンター		27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
高知大学医学部附属病院		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	選択科目合計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030636103

病院施設番号： 030636 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構呉医療センター

臨床研修病院群番号： \_\_\_\_\_ 臨床研修病院群名： \_\_\_\_\_

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	このプログラムは、一般臨床医として、あるいは専門医として必要と考えられる基本的な診療の知識、技術および態度を習得するための2年間の研修プログラムである。 症候からの診断的アプローチを学び、臨床推論の能力を修得することにより、頻度の高い症候や緊急を要する疾病の診断ができるようになり、コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で単独診療ができるようになる。				
3. 臨床研修の目標の概要	医師として的人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学、医療の社会的役割を認識しつつ、医師としての基本的価値観（プロフェSSIONナリズム）を自らのものとし、日常診療で頻繁に遭遇する負傷や疾病に対応する基本的診療能力を身につけ、医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を修得する。				
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030636	呉医療センター	35週	4週
	救急部門	030636	呉医療センター	8週	
	夜間当直			48回	
	地域医療	096346	公立下蒲刈病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	096345	島の病院おおたに	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	096347	せいざん青山病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	031918	安芸太田病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週

	地域医療		安田病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	031929	済生会呉病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	086060	佐々木内科・呼吸器科クリニック	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	034868	松前町立松前病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	080028	公立世羅中央病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	116061	県立安芸津病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	地域医療	032350	富江病院	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	外科	030636	呉医療センター	8週	
	小児科	030636	呉医療センター	5週	
	産婦人科	030636	呉医療センター	5週	
	精神科	030636	呉医療センター	5週	
	一般外来	030636	呉医療センター	週	
					週
					週
					週
					週
病院で 定めた 必修 科目	自由選択	030636	呉医療センター	~34週	
選択 科目	小児外科	030626	県立広島病院	4週	
	小児外科	030639	福山医療センター	4週	
	地域医療	076199	大宇根内科呼吸器科クリニック	1週	一般外来 0.5週 在宅診療 0.5週
	地域医療	086059	森本医院	1週	一般外来 0.5週 在宅診療 0.5週
	地域医療	033344	呉市保健所	1~2日	
	地域医療	126762	岡田医院	1週	一般外来 0.5週 在宅診療 0.5週
	地域医療	126762	岡田医院	1週	一般外来 0.5週 在宅診療 0.5週

	地域医療	126762	岡田医院	<u>1 週</u>	<u>一般外来 0.5 週</u> <u>在宅診療 0.5 週</u>

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030636

臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構 呉医療センター

は、既に取り得られている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030636103

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名 称(病院施設番号)	研修分 野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5													
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3													
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3											
呉医療センター	内科	1 1 1 3 3 3	1 2 2 3 3 2 2 1	9 9 8 8 8 8 7 7 7 7 5 5 5 6 7 7 7 6 6											
呉医療センター	救急部門		1 2 2 3 3 2 2 1	2 2 2 3 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 1 2 2 2 3 2 2 2											
呉医療センター	麻酔科		1 1 1 2 2 2 3	2 2 2 1 2 2 2 2 2 1 1 2 1 2 2 1 2 2 2 3 2 1 1											
呉医療センター	小児科			1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2				2 2 1 2 2 1 1		1 1	
呉医療センター	外科		1 1 1	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1				1 1 1 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 1 1				1 1 2 2 3 2 1 1		1 1 1	
呉医療センター	産婦人科						1 1 1 1		1 1 2 2 1 1		2 2 2 2 1		1 2 2 2 2 1 1 1		1
呉医療センター	精神科						1 1 2 2 1 1		1 1 1 1 1 1 2 1 1			1		1 1 1 1 1 1	
呉医療センター	自由選択								1 1 1	1 1 1		1 1 1 2 1 1		1 1 1	

\* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。  
 \* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。  
 \* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

は、既に取り得られている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号030636102

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~	5~	9~	11~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~	
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
呉医療センター	内科	3 3 2 2	3 3 5 5	6 3 3 3	4 3 3 3	4 4 5 3	3 3 2 3	3 3 1	1 2	2 1 1			1 1 1 1		
呉医療センター	救急部門	2 2 1 1	1 1 1		1 1 1 1	1	2 2 2 1								
呉医療センター	麻酔科		1 1 1 1 1												
呉医療センター	小児科	1 1 2 1	1 1	1 1 1	1 1 1 2	2 2 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1	1 1 1 1			1 1 1 2	1 1 1 1	
呉医療センター	外科	2 2 3 3	3 3 2 3	2 3 3 3	3 3 2 2 1	1 1 1 1	2 2 2 2	1 1 2 2	1 1						
呉医療センター	産婦人科	1 1 1 1	1 2	2 2 1 1	1 1			1 2 2 2	2 1 1 1						
呉医療センター	精神科	2 2 1 1		1 1	1 1 1 1	1 2 1 2	2 1			1 1 1 1		1 1 1 1			
呉医療センター	自由選択	1 1 2 3	3 3 2 1	1 2 2 2	1 3 3 3	2 3 3 3	1 2 3 3	3 3 3 3	6 6 7 7	7 7 7 8	9	1 1 1	1 1 1 1	9 9 9 8	1 1 1 1
												1 1 2	0 0 0 0	9 9 9 8	1 1 1 1
呉市保健所	地域														
大字根内科呼吸器科クリニック	地域							1							
森本医院	地域														
佐々木内科・呼吸器科クリニック	地域								1 1 1 1						
島の病院おおたに	地域						1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1				
公立下蒲刈病院	地域				1 1 1 1										
せいざん青山病院	地域														
岡田医院	地域														
安芸太田病院	地域														
済生会呉病院	地域												1 1 1 1		
安田病院	地域							1 1 1 1							

松前町立松前病院	地域					1	1	1	1											1	1	1	1										
公立世羅中央病院	地域									1	1	1	1																				
県立安芸津病院	地域																													1	1	1	1
県立広島病院	自由選択（小児外科）																																
福山医療センター	自由選択（小児外科）																																

- \* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- \* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- \* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。



## 33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号 : 030636

臨床研修病院の名称 : 呉医療センター 様式A-10別紙4

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	医籍登録		研修プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医
								番号	年月日		
1	泌尿器一般	繁田 正信	泌尿器科	院長	36	○	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会(泌尿器腹腔鏡)技術認定医	310838	昭和62年6月12日	30636103	3
2	消化器外科一般	田代 裕尊	外科	副院長	37	○	日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝臓学会専門医 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医 日本移植学会移植認定医	296688	昭和61年5月22日	30636103	3
3	脳血管障害全般	大庭 信二	脳神経外科	副院長	37	○	日本脳神経外科学会脳神外科専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脳卒中学会専門医	296780	昭和61年5月22日	30636103	3
4	麻酔科一般	讃岐 美智義	麻酔科	臨床研究部長	36	○	日本麻酔科学会指導医・専門医 日本心臓血管麻酔学会専門医 日本ペインクリニック学会専門医	304683	昭和62年5月21日	30636103	3
5	周産期医学	熊谷 正俊	産科	がんセンター・がん診療部長	35	○	日本産婦人科学会産婦人科専門医母体保護法指定医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 日本周産期・新生児学会周産期(母体・胎児)専門医	311880	昭和63年5月16日	30636103	3
6	血液疾患	伊藤 琢生	血液内科	血液内科科長	25	○	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本血液学会血液専門医	393231	平成10年4月28日	30636103	4
7	内分泌・糖尿病	久保田 益亘	内分泌・糖尿病内科	内分泌・糖尿病内科科	18	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本甲状腺学会甲状腺専門医	445781	平成17年5月22日	30636103	4
8	腎臓内科一般	高橋 俊介	腎臓内科	腎臓内科科長	25	○	日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓病学会専門医 日本透析医学会専門医	393236	平成10年4月28日	30636103	4
9	神経内科全般	大下 智彦	脳神経内科	臨床研修センター一部部長	29	○	日本神経学会専門医・指導医 日本内科学会認定総合内科専門医 日本認知症学会専門医 日本脳卒中学会専門医	361245	平成6年4月27日	30636103	1
10	神経内科全般	倉重 毅志	脳神経内科	脳神経内科医師	19	○	日本内科学会認定内科医 日本神経学会神経内科専門医 日本ボンベ病研究会ボンベ病相談医師	439182	平成16年4月27日	30636103	4
11	神経内科全般	杉浦 智仁	脳神経内科	脳神経内科医師	19	○	日本内科学会認定総合内科専門医 日本神経学会神経内科専門医	443645	平成16年5月11日	30636103	4
12	神経内科全般	同道 頼子	脳神経内科	脳神経内科医師	14	○	日本内科学会認定内科医 日本神経学会神経内科専門医 日本内科学会認定総合内科専門医	476778	平成21年4月3日	30636103	4
13	肝臓病	河野 博孝	消化器内科	消化器内科医長	30	○	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本肝臓学会肝臓専門医	356972	平成5年5月12日	30636103	4
14	消化器内科一般	吉田 成人	内視鏡内科	内視鏡内科科長	31	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科認定医・胃腸科専門医・胃腸科指導医 日本消化器がん検診学会認定医・指導医	347661	平成4年5月22日	30636103	3

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	医籍登録		研修プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医
								番号	年月日		
15	消化器内科一般	畠山 剛	内視鏡内科	内視鏡内科医長	24	○	日本内科学会 総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医	402790	平成11年5月6日	30636103	4
16	消化器内科一般	山口 厚	消化器内科	消化器内科医長	27	○	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本胆道学会認定指導医	376891	平成8年4月24日	30636103	4
17	消化器内科一般	田丸 弓弦	内視鏡内科	消化器内科医師	15	○	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化管学会胃腸科認定医、専門医、暫定指導医	468788	平成20年4月4日	30636103	4
18	消化器内科一般	水本 健	内視鏡内科	消化器内科医師	14	○	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本内科学会認定内科医	480912	平成21年4月22日	30636103	4
19	呼吸器内科一般	妹尾 直	呼吸器内科	呼吸器内科科長	24	○	日本呼吸器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本アレルギー学会専門医 日本臨床腫瘍学会指導医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本がん治療認定機構がん治療認定医	402731	平成11年5月6日	30636103	4
20	呼吸器内科一般	荒木 佑亮	呼吸器内科	呼吸器内科医師	13	○	日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本内科学会認定内科医	491483	平成23年3月22日	30636103	4
21	循環器内科一般	杉野 浩	循環器内科	内科系診療部長	31	○	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本高血圧学会専門医、指導医 日本プライマリケア連合学会認定指導医	347645	平成4年5月22日	30636103	3
22	循環器内科一般	下永 貴司	循環器内科	循環器内科医師	16	○	日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本循環器専門医	466610	平成19年4月24日	30636103	4
23	循環器内科一般	木下 晴之	循環器内科	循環器内科医長	17	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医	457287	平成18年4月14日	30636103	4
24	循環器内科一般	政田 賢治	循環器内科	循環器内科医師	15	○	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本超音波医学会専門医 日本心エコー図学会認定SHD心エコー図認証医 心臓リハビリテーション指導士	468827	平成20年4月4日	30636103	4
25	循環器内科一般	住元 庸二	循環器内科	循環器内科医師	14	○	日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本循環器学会専門医 日本超音波医学会専門医 ACLSインストラクター	480210	平成21年4月17日	30636103	4
26	リウマチ・膠原病	徳永 忠浩	リウマチ・膠原病科	リウマチ・膠原病科科長	11	○	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本リウマチ学会リウマチ指導医	505815	平成24年4月16日	30636103	4
27	精神科一般	町野 彰彦	精神科	教育企画部長	32	○	精神保健指定医 精神科臨床研修指導医 日本精神神経学会指導医 日本精神神経学会精神科専門医 日本総合病院精神医学会特定指導医	336808	平成3年5月20日	30636103	3

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	医籍登録		研修プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医
								番号	年月日		
28	小児 血液・悪性腫瘍	世羅 康彦	小児科	小児科 科長	28	○	日本小児科学会専門医	368976	平成7年4月26日	30636103	3
29	先天性代謝疾患・ 小児内分泌	原 香住	小児科	小児科 医長	18	○	日本小児科学会専門医	445780	平成17年4月1日	30636103	4
30	小児科一般	西岡 軌史	小児科	小児科 医師	14	○	日本小児科学会専門医	482617	平成21年4月28日	30636103	4
31	小児科一般	白石 泰尚	小児科	小児科 医師	13	○	日本小児科学会専門医	484848	平成22年4月8日	30636103	4
32	小児科一般	柴沼 栄希	小児科	小児科 医師	8	○	日本小児科学会専門医	528801	平成27年4月6日	30636103	4
33	消化器外科一般	清水 洋祐	外科	医療情報 部長	31	○	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	347642	平成4年5月22日	30636103	4
34	消化器外科一般	首藤 毅	外科	外科医 長	29	○	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本胆道学会認定指導医	361261	平成6年4月27日	30636103	4
35	消化器外科一般	尾上 隆司	外科	外科医 長	27	○	日本外科学会専門医・指導医 日本移植学会移植認定医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医 消化器がん外科治療認定医	376959	平成8年4月24日	30636103	4
36	消化器外科一般	鈴木 崇久	外科	外科医 長	25	○	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	393276	平成10年4月28日	30636103	2
37	消化器外科一般	田澤 宏文	外科	外科医 長	21	○	日本外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	423053	平成14年4月30日	30636103	4
38	消化器外科一般	佐田 春樹	外科	外科医 師	16	○	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医 日本消化器外科学会専門医 消化器がん外科治療認定医	461516	平成19年4月4日	30636103	4
39	消化器外科一般	田妻 昌	外科	外科医 師	10	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 消化器がん外科治療認定医	512549	平成25年4月10日	30636103	4
40	消化器外科一般	嶋田 徳光	感染症科	感染症科 科長	20	○	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会専門医・指導医 大腸肛門病専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	430750	平成15年4月28日	30636103	4
41	乳腺外科一般	吉山 知幸	乳腺外科	乳腺外 科科長	22	○	日本外科学会外科専門医 日本乳癌学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 マンモグラフィ読影認定医 乳房超音波検診検査実施・判定医 日本乳房オンコプラスティックサージヤリー学会責任医師	415727	平成13年5月7日	30636103	4
42	乳腺外科一般	小林 美恵	乳腺外科	乳腺外 科医師	19	○	日本外科学会外科専門医 日本乳癌学会専門医	442492	平成16年5月7日	30636103	4

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	医籍登録		研修プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医
								番号	年月日		
43	乳腺外科一般	川又 あゆみ	乳腺外科	乳腺外科医師	13	○	日本外科学会外科専門医 日本乳癌学会専門医 日本内科学会認定内科医 認知症サポート医	491389	平成23年3月22日	30636103	4
44	整形外科一般	力田 高德	整形外科	整形外科医師	19	○	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本脊椎脊髄学会脊椎脊髄外科指導医	445777	平成17年4月1日	30636103	4
45	整形外科一般	山崎 琢磨	整形外科	整形外科科長	28	○	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医 日本股関節学会認定股関節鏡技術認定取得医	368925	平成7年4月26日	30636103	4
46	形成外科一般	植村 享裕	形成外科	形成外科科長	17	○	日本形成外科学会専門医	459565	平成18年4月21日	30636103	4
47	脳神経外科一般	磯部 尚幸	脳神経外科	中央診断センター一部部長	33	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本がん治療認定機構がん治療認定医	329067	平成2年5月21日	30636103	4
48	脳神経外科一般	高野 元気	脳神経外科	脳神経外科医師	18	○	日本脳神経外科学会専門医・指導医	445775	平成17年4月1日	30636103	4
49	泌尿器科一般	福岡 憲一郎	泌尿器科	泌尿器科科長	13	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医	484871	平成22年4月8日	30636103	4
50	心臓血管外科一般	今井 克彦	心臓血管外科	心臓センター一部部長	32	○	日本外科学会専門医・指導医 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医・修練指導者 日本循環器学会専門医 ICD/CRT研修終了者 TAVI認定術者 リード拔去術認定術者	337565	平成3年5月22日	30636103	4
51	呼吸器外科一般	三村 剛史	呼吸器外科	呼吸器外科科長	24	○	日本外科学会指導医・専門医・認定医 呼吸器外科専門医 日本がん治療認定機構認定医 肺がんCT検診認定医 日本胸部外科学会評議員 日本呼吸器外科学会評議員 日本肺癌学会評議員	406118	平成11年5月17日	30636103	4
52	産婦人科一般	中村 紘子	婦人科	婦人科医師	19	○	日本産婦人科学会産婦人科専門医母体保護法指定医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	438658	平成16年4月26日	30636103	4
53	産婦人科一般	佐川 麻衣子	婦人科	婦人科医師	16	○	日本産婦人科学会専門医	461933	平成19年4月6日	30636103	4
54	産婦人科一般	綱掛 恵	産科	産科医師	9	○	日本産科婦人科学会専門医	515495	平成26年3月24日	30636103	4
55	眼科一般	望月 司	眼科	眼科科長	10	○	日本眼科学会専門医	510874	平成25年3月29日	30636103	4
56	耳鼻咽喉科一般	立川 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	統括診療部長	34	○	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医	320414	平成1年5月22日	30636103	3
57	耳鼻咽喉科一般	鮫島 克佳	甲状腺外科	甲状腺外科科長	10	○	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医	507897	平成25年3月25日	30636103	3

	担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	医籍登録		研修プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医
								番号	年月日		
58	救急一般	岩崎 泰昌	救急科	救命救急センター部長	32	○	日本救急医学会専門医 日本救急医学会指導医 日本集中治療医学会集中治療専門医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本中毒学会臨床・トキシコロジスト	338279	平成3年5月22日	30636103	3
59	放射線診断	豊田 尚之	放射線診断科	中央放射線センター部長	33	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本IVR学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医	329114	平成2年5月21日	30636103	4
60	放射線診断	松浦 範明	放射線診断科	放射線診断科	24	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医	406793	平成11年5月31日	30636103	4
61	放射線診断	古本 大典	放射線診断科	放射線診断科 医長	24	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導者 PET核医学認定医 日本核医学会核医学専門医 肺がんCT検診認定医 マンモグラフィ読影医	402773	平成11年5月6日	30636103	4
62	放射線診断	梶原 賢司	放射線診断科	放射線診断科	16	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医	461526	平成19年4月4日	30636103	4
63	放射線治療	幸 慎太郎	放射線腫瘍科	放射線治療科 科長	20	○	日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会研修指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	430692	平成15年4月28日	30636103	4
64	麻酔科一般	栗田 茂顕	麻酔科	麻酔科 医長	28	○	日本麻酔科学会指導医	368945	平成7年4月26日	30636103	4
65	病理一般	倉岡 和矢	病理診断科	病理診断科 科長	23	○	日本病理学会専門医・指導医 日本臨床細胞学会専門医・指導医	408320	平成12年4月27日	30636103	4
66	病理一般	山本 利枝	病理診断科	病理診断科 医長	23	○	日本病理学会専門医 日本臨床検査医学会臨床検査管理医 日本臨床細胞学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医	407498	平成12年4月24日	30636103	4

## 25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：独立行政法人国立病院機構 呉医療センター（広島県）

研修プログラムの名称 国立病院機構呉医療センター卒後臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
呉医療センター	030636	基幹型	広島県	960時間	4 回程度／月 救急外来での宿日直 宿日直許可あり	平均448時間／名 （26名）	-
県立広島病院	030626	協力型	広島県	800時間	月 4 回程度 宿日直許可あり	約800時間 対象となる臨床研修医32名 （2023年度）	-
福山医療センター	030639	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-
安芸太田病院	031918	協力型	広島県	0 時間	3 回程度／月 宿日直許可あり	0時間／名（1名）	-
済生会呉病院	031929	協力型	広島県	0 時間	4 回程度／月 宿日直許可あり	0時間／名（1名）	-
呉市保健所	033344	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	0時間／名（1名）	-
松前町立松前病院	034868	協力型	北海道	0 時間	宿日直なし	0時間／名（3名）	-
大字根内科・呼吸器科	076199	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-
公立世羅中央病院	080028	協力型	広島県	0 時間	1・2 回／月 宿日直許可あり	昨年度実績なし	-
森本医院	086059	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-
佐々木内科・呼吸器科	086060	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	0時間／名（2名）	-
島の病院おおたに	096345	協力型	広島県	0 時間	4 回程度／月 宿日直許可あり	0時間／名（2名）	-
公立下蒲刈病院	096346	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-
青山病院	096347	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-
県立安芸津病院	116061	協力型	広島県	0 時間	2 回程度／月	昨年度実績なし	-
岡田医院	126762	協力型	広島県	0 時間	宿日直なし	昨年度実績なし	-

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 (年単位換算) 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 (年単位換算) 前年度実績	C-1水準 適用
呉医療センター	030636	基幹型	広島県	960時間	4回程度／月 救急外来での宿日直 宿日直許可あり	平均448時間／名 (26名)	-
安田病院		協力型	広島県	0時間	宿日直なし	0時間／名 (1名)	-

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。  
 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。